

令和5年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門

政策No	14	政策名	豊かで多様な文化に包まれたまちづくりを進める
所管部	産業・地域振興支援部		関係部

2 政策のめざす方向性

文化芸術を通じて、区に住み、働き、学び、訪れる人々の意識や行動の変化を促し、多様性を認め合う価値観が区内外に発信されることで、平和な世界の実現に貢献するため、誰もが文化芸術を鑑賞・参加・創造できる機会の充実、多様な主体間の協働による文化芸術振興、文化芸術振興施策の推進に向けた基盤整備を進めます。

SDGsとの関係



3 成果指標【政策について満足している区民の割合】

指標の推移		目標値		達成度 ※	※評価方法 A：中間目標値に到達しており、計画目標を達成できる可能性がある。 B：中間目標値に到達していないが、計画目標を達成できる可能性がある。 C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和元年度）も下回っているが、計画目標を達成できる可能性がある。 D：中間目標値に到達しているが、計画目標を達成できる可能性がない。 E：中間目標値を下回っており、計画目標を達成できる可能性がない。
現状値	実績	中間目標値	計画目標値		
令和元年度	令和4年度	令和4年度	令和8年度末		
26.7%	40.2%	28.9%	32.0%	A	

これまでの取組と成果
ロビーコンサートでは、コロナ禍で演奏する機会がないプロの音楽家からアマチュアの団体など様々なレベルの出演希望者から多くの応募がありました。全ての方に出演いただくよう2部制の導入や、他会場でも開催するなど演奏する機会を設けました。区民に文化芸術を鑑賞し参加し創造できる機会の充実に取組みました。

課題と今後の方向性
※未達成の場合は原因分析を含む
港区文化芸術実態調査では、テレビ・ラジオ、CD・DVD、インターネット等での鑑賞は92.2%と多様な媒体による鑑賞機会が充実している一方で、育児や介護、障害等により文化芸術を鑑賞、活動できていない区民が一定数存在し、誰もが文化芸術に参加できる環境整備を推進する必要があります。

4 施策の取組状況【施策評価結果】（詳細は別紙「施策評価シート」）

No	施策名	成果指標	施策評価
①	誰もが文化芸術を鑑賞・参加・創造できる機会の充実	1年間に文化芸術を鑑賞した区民の割合	C
②	多様な主体間の協働による文化芸術振興	港区文化芸術ネットワーク会議への年間の実参加団体数	A
③	文化芸術振興施策の推進に向けた基盤整備	港区立みなと芸術センターで鑑賞・参加・創造したい区民の割合	A
④			
⑤			
⑥			

5 予算額・決算額・執行率（単位：千円）			
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額	86,465	116,926	229,595
流用・補正	1,502	2,702	-
決算額	76,559	114,624	-
執行率	73.64%	95.82%	-

6 政策を取り巻く社会経済情勢等

<p>計画期間中の社会経済状況等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会経済状況、人口動向、財政状況、国や東京都等の動向など 	<p>国は令和5年度から9年度を計画期間とする文化芸術推進基本計画（第2期）に取り組んでおり、中間報告では、ポストコロナの文化芸術活動の推進やデジタル技術を活用した文化芸術活動を推進していくなどを重点取組に掲げています。</p>
<p>区民ニーズ等</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民意識調査 区民から寄せられた意見など 	<p>港区文化芸術実態調査では、チケットの区民優待・割引制度や、子どもが文化芸術に触れる機会の充実、発信力の高いイベントと開催など、新型コロナウイルス感染症も5類へ移行したことを契機に文化芸術の鑑賞機会の需要が考えられます。</p>

7 所管課による評価【一次評価】

<p>政策の達成状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術施設などで直接鑑賞した区民の割合は75.2%と新型コロナウイルス感染症の影響により、前回の調査を下回りました。 文化芸術ネットワーク会議は第1回29団体、第2回は21団体計50団体の参加があり、文化芸術団体の活動に伴う情報共有の場として有益な会議となっています。 文化芸術実態調査では、みなと芸術センターでの事業に、参加または関与してみたい区民の割合は71.7%と期待が高くなっています。
<p>達成状況の要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策の有効性が高かった点 施策の有効性が低かった点 外部要因の影響を受けた点など 	<ul style="list-style-type: none"> 施策「誰もが文化芸術を鑑賞・参加・創造できる機会の充実」について、ロビーコンサートでは積極的に取り組みましたが、コロナ禍の影響で直接鑑賞した比率は75.2%、と前回の調査を下回りました。 施策「多様な主体間の協働による文化芸術振興」について、文化芸術ネットワーク会議の参加団体数は目標値を超える参加がありました。 施策「文化芸術振興施策の推進に向けた基盤整備」について、文化芸術実態調査では、みなと芸術センターに期待する声が多いです。
<p>課題と今後の方向性</p>	<p>新型コロナウイルス感染症も5類へ移行し、六本木アートナイトも令和5年度はオールナイト開催に戻ります。Kissポート財団の文化芸術活動サポート事業の申請件数も増えており、文化芸術活動団体の活動もコロナ禍前に戻りつつあります。Kissポート団体と連携し、文化芸術活動団体の活動や、共生社会の事業についても積極的に支援します。</p>

8 港区行政評価委員会による評価【二次評価】

<p>評価※</p>	<p>B：政策目的をおおむね達成できる。</p>
<p>政策の達成度</p>	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが文化芸術に主体的に携わることのできる取組を進めており、こうしたインクルーシブな取組が、社会とのつながりの創出につながっていると評価できます。 文化芸術への参加や創造に向けては、企業など、他のステークホルダーとの更なる連携の余地があります。 文化芸術の直接鑑賞の割合が新型コロナウイルスの影響により減少しました。
<p>今後の政策の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点的に取り組むべき施策など 	<ul style="list-style-type: none"> 区内にはマスコミ、メディア関連の企業が多くあり、こうした企業との更なる連携について検討する必要があります。 直接鑑賞に限らず、デジタル技術や様々な視聴・参加媒体を活用し、新たな鑑賞・参加・創造の機会を提供することも求められます。 政策全体として団体への支援が前面に出ていますが、個人への支援も視野に入れる必要があります。

※評価の目安

政策評価	施策評価 (最も低い施策の評価で判断)	政策の成果指標の達成度
A：政策目的を十分に達成できる。		A
B：政策目的をおおむね達成できる。		C以上
C：政策目的を達成するために改善が必要である。		上記以外

施策評価シート

政策No	14	政策名	豊かで多様な文化に包まれたまちづくりを進める		
施策No	1	施策名	誰もが文化芸術を鑑賞・参加・創造できる機会の充実		
目標・期待する成果	年齢や障害の有無、国籍等にかかわらず、誰もが文化芸術を鑑賞・参加・創造できる環境整備を進めるとともに、国際性豊かな区の特性や多様な文化資源を生かした取組を推進し、文化芸術を通じた相互理解を促し、共生社会の実現をめざします。				
SDGsのゴールとの関係	 				
施策担当課	国際化・文化芸術担当			関係課	
担当者名	福島	内線	2341		

1 成果指標の達成度

成果指標①	指標の推移				目標値		
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末	
1年間に文化芸術を鑑賞した区民の割合	86.7%	—	75.2%	80.1%	86.8%	86.9%	
達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)			
令和3年度	—	港区文化プログラム連携事業として、国際的なダンスや演劇の祭典、テーマ性のある子ども向けのワークショップの開催など、年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが文化芸術を鑑賞、参加及び創造できる機会の創出に取り組みました。令和3年度は、5団体が事業を実施しました。			平成28年度から取り組んできた文化プログラムの成果をレガシー（多様性を認め合う価値観や伝統、人材、知恵等）として、着実に、令和9年度開館予定の（仮称）文化芸術ホールの整備等の取組に生かしていきます。また、令和4年度に実施する港区文化芸術実態調査にて、成果指標を図ります。		
令和4年度	b	港区文化芸術実態調査では、文化芸術施設などで直接鑑賞した比率は75.2%、テレビ・ラジオ、CD・DVD、インターネット等での鑑賞は92.2%とコロナの影響で直接鑑賞した人が前回より少なくなりました。ロビーコンサートでは、出演希望者が多く2部制や他会場でも開催するなど、鑑賞及び参加できる機会の充実に取組みました。			文化芸術施設などで直接鑑賞しなかった理由として、新型コロナウイルス感染症の影響が51.1%と顕著に表れました。同感染症も5類へ移行し、六本木アートナイトも令和5年度はオールナイト開催に戻るなど、コロナ禍前に戻りつつあります。今後も共生社会及び国際性のある事業を積極的に推進してまいります。		
令和5年度	c	ミナコレ事業では、美術館・博物館訪問の特典を、区内大使館訪問に変更し、外国の文化芸術に触れる機会の充実に図ります。六本木アートナイトがオールナイト開催になり情報発信力が高いイベントになるよう実行委員会と協働で実施します。Kissポート財団のソーシャルサーカスなど共生社会の事業にも積極的に支援します。					

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 —：指標値を把握できない。

成果指標②	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度						
令和4年度						
令和5年度						

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

2 施策評価

評価	C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和2年度）も下回るが、計画目標値の達成可能性がある。
施策の達成状況	1年間に文化芸術のジャンルに関して、文化芸術施設などで直接鑑賞（テレビやインターネットなど自宅での鑑賞は除く）した区民の割合は75.2%でした。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	文化芸術施設などで直接鑑賞しなかった理由として、「新型コロナウイルス感染症の影響により、公演や展覧会などが中止になった、又は外出を控えたから」が最も多く、外部要因の影響が直接数字に表れてます。
課題と今後の方向性	新型コロナウイルス感染症も5類へ移行し、六本木アートナイトも令和5年度はオールナイト開催に戻ります。Kissポート財団の文化芸術活動サポート事業の申請件数も増えており、文化芸術活動団体の活動もコロナ禍前に戻りつつあります。Kissポート財団と連携し、文化芸術活動団体の活動や、共生社会の事業についても積極的に支援します。

A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。
C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和2年度）も下回るが、計画目標値の達成可能性がある。
D：中間目標値に到達するが、計画目標値の達成可能性がない。
E：中間目標値を下回り、計画目標値の達成可能性がない。

施策評価シート

政策No	14	政策名	豊かで多様な文化に包まれたまちづくりを進める		
施策No	2	施策名	多様な主体間の協働による文化芸術振興		
目標・期待する成果	芸術ジャンルや社会領域を超えた多様な主体間の交流・連携が進むことで、心豊かで潤いのある生活を送る上で極めて重要な文化芸術が、安全かつ継続的に区民に提供されるとともに、文化芸術のみならず、様々な社会領域が抱える課題解決につなげます。				
SDGsのゴールとの関係	 				
施策担当課	国際化・文化芸術担当			関係課	
担当者名	福島	内線	2341		

1 成果指標の達成度

成果指標①	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
港区文化芸術ネットワーク会議への年間の実参加団体数	40団体	44団体	50団体	53団体	45団体	50団体
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	a	2回の文化芸術ネットワーク会議を開催し、アフターコロナを見据えた活動をしている文化団体によるパネルディスカッションや、文化芸術を通じた地域連携をテーマにしたワークショップ等を行いました。		多様な主体間の連携や新たな文化芸術の創造の更なる推進をめざすとともに、Kissポート財団のコーディネート機能強化のため、令和4年度から、区と財団が共同で港区文化芸術ネットワーク会議を実施します。		
令和4年度	a	文化芸術ネットワーク会議は、令和4年度からKissポート財団に移管し、区と共同で2回実施しました。共生社会の実現をテーマとした基調講演や文化芸術活動サポート事業の助成団体によるパネルディスカッションなど行いました。文化芸術活動団体同士の課題の共有など参考になりました。		これまで培ったKissポート財団の高い専門性やコーディネート機能力を発揮し、文化芸術団体同士の連携や協働につながるネットワーク会議を引き続き実施します。参加団体の持続性を考慮するとKissポート財団のアーツカウンシル化も視野に入れた支援も今後行います。		
令和5年度	a	文化芸術活動団体が日頃の活動を通して、悩み事や課題の共有、解決に向けてのきっかけ作りができ、更に持続可能性を高めながら文化芸術活動ができるようネットワーク会議を引き続きKissポート財団と共同で2回の開催を予定しています。		/		

a : 予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b : 予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c : 中間目標値に到達する可能性がない。 - : 指標値を把握できない。

成果指標②	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)	
令和3年度						
令和4年度						
令和5年度						

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

2 施策評価

評価	A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
施策の達成状況	令和4年度の第1回文化芸術ネットワーク会議は29団体、第2回は21団体計50団体の参加がありました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	港区文化芸術活動サポート事業の助成団体や過去に文化芸術ネットワーク会議に参加いただいた文化芸術団体、また港区文化芸術実態調査団体ヒアリングにご協力いただいた団体に当該事業を周知し参加いただきました。
課題と今後の方向性	活動団体の高齢化や人員不足、SNSなど多様な広報活動に対応できないなど文化芸術活動団体が日頃から抱えている悩みや課題を共有できる有益な会議となっています。Kissポート財団に団体活動の相談窓口やアーツカウンシル機能を求める声もあり財団への期待が増しております。区も文化芸術活動団体が財団へ求めている内容の実現性についても視野に入れた支援を今後も行います。

A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。
C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和2年度）も下回るが、計画目標値の達成可能性がある。
D：中間目標値に到達するが、計画目標値の達成可能性がない。
E：中間目標値を下回り、計画目標値の達成可能性がない。

施策評価シート

政策No	14	政策名	豊かで多様な文化に包まれたまちづくりを進める		
施策No	3	施策名	文化芸術振興施策の推進に向けた基盤整備		
目標・期待する成果	区の文化芸術振興の中核拠点として港区立みなと芸術センターを整備し、文化芸術を通じた交流や相互理解、それによる多様性を認め合う価値観の醸成をめざします。人々の自由な表現活動を通じて多様性を認め合う価値観を醸成するとともに、区民の意識や行動の変化を促すことで、共生社会の実現につなげます。				
SDGsのゴールとの関係	   				
施策担当課	国際化・文化芸術担当			関係課	
担当者名	福島	内線	2341		

1 成果指標の達成度

成果指標①	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
港区立みなと芸術センターで鑑賞・参加・創造したい区民の割合	-	-	71.7%	72%	60%	70%
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	a	港区立みなと芸術センターの管理運営に関して、民間事業者の参入意欲等を把握するため、サウンディング型市場調査を実施するとともに、Kissポート財団の共生社会推進事業として、障害者施設におけるワークショップやバリアフリー演劇を開催しました。		区全体で港区立みなと芸術センター整備に向けた気運を高め、区民の幸せを探求し、愛される施設となるよう、令和4年度に気運醸成事業を開始するとともに、管理運営計画を策定します。また、令和4年度に実施する港区文化芸術実態調査にて、成果指標を図ります。		
令和4年度	a	港区文化芸術実態調査では、みなと芸術センターで参加または関与してみたい区民の割合は71.7%でした。令和9年度の開館に向けた気運を醸成するため、同センターの基本理念や重点的な取組等の趣旨を踏まえたシンポジウムおよびワークショップを開催しました。また、管理運営計画を策定しました。		港区文化芸術実態調査にて、成果指標を測りました。令和4年度に開始した気運醸成事業について、区民の幸せを探求し、愛される施設となるよう、令和9年度開館に向けて着実に取り組んでまいります。		
令和5年度	a	引き続き、気運醸成事業など共生社会推進事業を推進し、多様性を認め合う価値観を醸成するとともに、区民の意識や行動の変化を促すことで、共生社会の実現につなげます。		/		

a : 予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b : 予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c : 中間目標値に到達する可能性がない。 - : 指標値を把握できない。

成果指標②	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度						
令和4年度						
令和5年度						

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

2 施策評価

評価	A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
施策の達成状況	港区文化芸術実態調査では、みなと芸術センターでの事業に、参加または関与してみたい区民の割合は71.7%でした。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	港区文化芸術実態調査のアンケート調査及び文化芸術活動団体へのヒアリングでもみなと芸術センターへの期待は高まっています。アンケート結果でも国内外を問わず質の高い公演や最先端の技術を用いた作品の公演を望んでいる区民が多く存在しています。
課題と今後の方向性	令和9年度開館に向けた気運を醸成するため、みなと芸術センターの基本理念や重点的な取組等の趣旨を踏まえたシンポジウム及びワークショップを令和5年度も開催します。

A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。
C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和2年度）も下回るが、計画目標値の達成可能性がある。
D：中間目標値に到達するが、計画目標値の達成可能性がない。
E：中間目標値を下回り、計画目標値の達成可能性がない。